

目 次

	ページ
1. 適用範囲	3
2. 引用規格	3
3. 一般事項	3
4. 定義	3
4.1 粉末状試料	3
4.2 ガラスビード	4
4.3 基準 X 線強度	4
4.4 標準化済 X 線強度	4
5. 分析項目	4
6. 定量範囲	4
7. 試料の採り方及び取扱い方	4
7.1 試料の採り方及び取扱い方	4
7.2 試料の取扱い方	5
7.3 試料のはかり方	5
8. 定量方法	5
8.1 原理	5
8.2 試薬・標準物質・標準化用粉末試料	5
8.3 装置及び器具	5
8.4 定量操作	6
9. 報告のまとめ方	10
9.1 報告値の算出	10
9.2 報告値の表示	10
10. 測定条件の設定と定量下限の算出	10
10.1 測定条件の設定	10
10.2 定量下限の算出方法	10
附属書 1	12
附属書 2	13

日本セラミックス協会規格

JCRS 112—2016

セラミックス用アルミノけい酸塩質原料の蛍光 X 線分析方法

Methods for X-ray fluorescence spectrometric analysis of aluminosilicate raw materials for ceramics

1. **適用範囲** この規格は、ガラスビード法を用いた波長分散形蛍光 X 線分析によるセラミックス用アルミノけい酸塩質原料中の化学組成分析方法について規定する。

2. **引用規格** 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS H 6201	化学分析用白金るつぼ
JIS K 0050	化学分析方法通則
JIS K 0119	蛍光 X 線分析方法通則
JIS K 0211	分析化学用語（基礎部門）
JIS K 0215	分析化学用語（分析機器部門）
JIS K 3503	化学分析用ガラス器具
JIS M 8853	セラミックス用アルミノけい酸塩質原料の化学分析方法
JIS R 1301	化学分析用磁器るつぼ
JIS Z 8401	数値の丸め方
JIS Z 8801-1	試験用ふるい—第 1 部：金属製網ふるい

3. **一般事項** 分析方法の一般事項については、**JIS K 0050** 及び **JIS K 0119** の規定による。

4. **定義** この規格で用いる主な用語の定義は、**JIS K 0119**、**JIS K 0211** 及び **JIS K 0215** によるほか、次による。

4.1 **粉末状試料** 融剤を加え、ガラスビードの作製に用いる粉末状の試料。標準物質、標準化用粉末試料、及び分析用粉末試料に分かれる。

4.1.1 **標準物質** 検量線の作成、測定条件及び許容差の検定に用いる組成が既知の一連の試料。次の 2 種に区分する。

a) **アルミノけい酸塩質原料標準物質系列** アルミノけい酸塩質原料の蛍光 X 線分析に用いるために適切な組成に調製した一連の標準物質群。

b) **補助標準物質** アルミノけい酸塩質原料標準物質系列を補うために用いる標準物質。